

シリコーン等による石油ファンヒーターへの影響

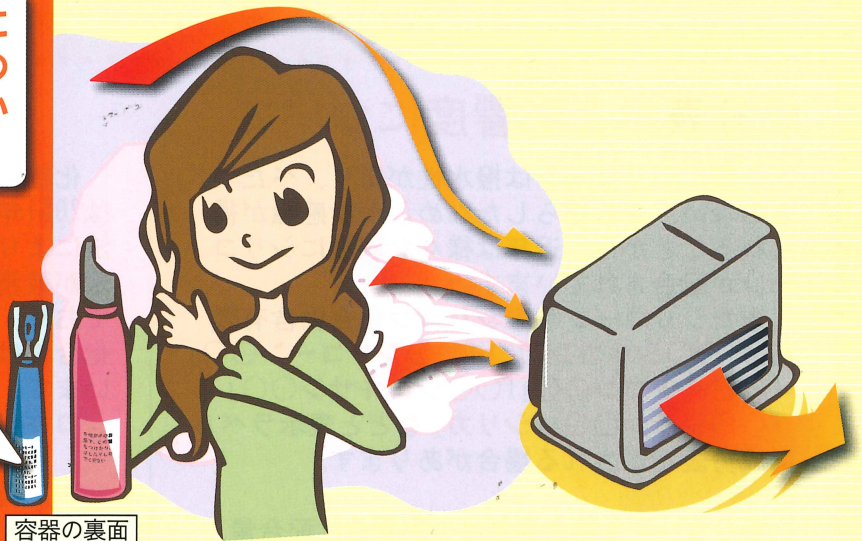
石油ファンヒーターをお使いの部屋でシリコーン等を含む商品を使用したり、洗面台などでヘアケア商品を塗布され、乾かさずに石油ファンヒーターをお使いの部屋へ移動すると、シリコーン等が本体内に吸入され、炎検知器（フレイムロッド）周辺に白い酸化物が付着し、着火不良や途中消火といった症状が発生します。飛散、蒸発したシリコーン等は目には見えません。※このとき、エラーや換気警告ランプが表示されます。



石油ファンヒーターに関する使用上の注意のある商品は、使わないでください。

一部の洗い流さないヘアトリートメントなどのヘアケア商品等には、石油ファンヒーターの故障の原因になる旨の表示がされています。使用上の注意をよく読み、石油ファンヒーターとの同時使用はしないでください。

容器の裏面

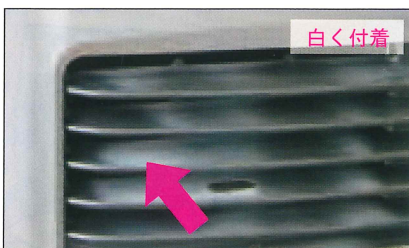


シリコーン等配合製品を使用したときの現象（白く変色）

燃焼部
の一例



温風吹出口
(ひどい場合)



シリコーン等配合製品には下のよう
なものがあります

※石油ファンヒーターに関する使用上の注意がないものでも同時使用は控えてください。

- 化粧品類（ヘアトリートメント、枝毛コート剤などのヘアケア製品、保湿用などのクリーム等）
- 衣類等の撥水剤、柔軟剤等（防水スプレー、アイロン用スプレー、静電気防止剤、しわ伸ばし用スプレー等）
- 家具等の艶出し剤、保護剤



ご注意

すべてのメーカーの製品に配合されているとは限りません。また、影響度は揮発性、配合量、使用量などにより大きく異なります。

詳しくは裏面をご覧ください

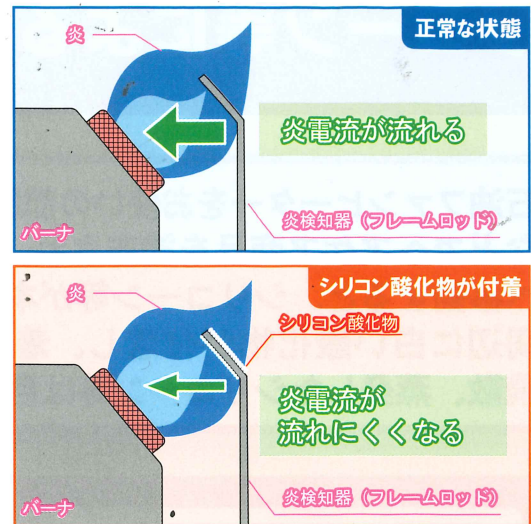


シリコーン等による影響の原理

石油ファンヒーターでは炎検知器とバーナの間を流れる微量な電流を測定し、燃焼状態を常に監視しています。

シリコーン等配合の製品を石油ファンヒーターと同時使用された場合、飛散・蒸発したシリコーン等が燃焼用空気と共に燃焼室内部に入り込み、高温によって「**シリコン酸化物（白色の粉）**」として炎検知器に付着します。

シリコン酸化物は高温でも分解されにくく、一度付着すると自然には取れません。また、電気絶縁性が高く、電気の流れを阻害して安全装置が異常と判断し運転を停止させます。



成分表示と影響度について

一般にシリコーンは撥水性があり、べたつきのない、さらさらしたなめらかな感触が得られることから、近年は様々な製品にシリコーンが配合されています。

またシリコーン等のシリコン化合物含有製品は「**〇〇シリコン〇〇**」「**〇〇シリコーン〇〇**」「**〇〇メチコン〇〇**」「**〇〇シロキサソ〇〇**」「**〇〇シラン〇〇**」「**シリカ**」などと表示ラベルに成分表示がされる場合があります。

シリコン化合物含有製品の影響度は配合量、使用量、使用頻度、揮発性（またはスプレー等による飛散・蒸発のしやすさ）、石油ファンヒーターとの距離、位置関係、換気状態等により異なりますが、シリコン酸化皮膜は蓄積されていくため、長期間使用後に影響が出ることもあります。

化粧品については2001年から薬事法により全成分表示が義務付けられており、シリコン化合物は「**〇〇メチコン〇〇**」等と表示されています。特に「**シクロメチコン**」「**シクロペンタシロキサソ**」は揮発性が高く注意が必要です。



洗い流さないヘアトリートメント等には石油ファンヒーターの故障の原因になる旨の表示がされている場合があります。ご使用には十分注意してください。

※シリコンとシリコーンという呼び名が出てきますが、一般的には区別するためにシリコンは珪素単体を指し、シリコーンはシロキサソポリマーを指しています。

日本ガス石油機器工業会からの改善要望に対する日本化粧品工業連合会の対応

日本化粧品工業連合会は全傘下会員に対し、揮発性シリコーンを配合したヘアトリートメント等などのヘアケア製品が原因と考えられる石油ファンヒーターの故障事故防止のため、揮発性シリコーンを配合しないヘアケア製品への処方変更および代替品への切り替えをできるだけ速やかに実施してほしい旨のお願いをしています。

シリコーン等による影響を防ぐために

- 石油ファンヒーターの故障の原因になる旨の表示がされているヘアケア製品等は石油ファンヒーターと同時に使用しないでください。また、洗面台などで洗い流さないヘアトリートメント等などのヘアケア製品を塗布され、乾かさずに石油ファンヒーターを使用中の部屋へ移動した場合も故障の原因となりますので、ご注意ください。
- その他のシリコーン配合製品も同時使用は控えてください。
- やむなくご使用になる際は石油ファンヒーターの運転を一時的に停止し、使用後は換気を十分に行なってシリコーン等の成分を屋外に排出してから運転を再開してください。

